

会報 わかくさの風 No.13

社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽1522-1 わかくさ内

Tel 048-432-8198 Fax 048-432-8298 <http://www.wakakusa-kai.com/>



←写真は1月21日成人を祝う会で成人代表で挨拶をするわかくさ利用者。先輩たちの前で堂々と挨拶をしています。

■大きな変革の中で

社会福祉法人改革は今まで税制上などで優遇されてきた社会福祉法人を民間企業とイコールフッティング

法人改革と「働くこと」「暮らすこと」への保障の道筋に向かって
社会福祉法人の固有性の維持と法人組織の充実を

同(一条件)にすることを目的としています。このため法人を支えていただいた評議員はこの3月で、理事の方は決算理事会を機に退任となり、その後は新しい方たちで法人を運営していくこととなります。

制度改正に伴う交代ですが、今まで支えていただいた方々の努力をさらに積みあげ、法人がさらに発展するように頑張ってください。また、この3月末で前事務長でゆうゆう草柳所長、わかくさ菊地所長が退任します。草柳所長は10年にわたり、法人の基礎固めに尽力をしていただきました。また、菊地所長は3年間所長として野菜販売などの新しい事業展開にも取り組んでいただきました。評議員、理事、お二人の所長には、今までのご尽力に感謝を申し上げますとともに今後とも大所高所からご助言を頂ければ幸いです。

■新たな体制の中で迎える

今年には法人内外の環境が大きく変

わる中で、法人の組織の充実を念頭に、法人が大切にしている「働くこと」「暮らすこと」を再確認し、当事者を真ん中において取組む姿勢を堅持し、法人の理念の実現に向けて一歩進めてまいります。厳しい人材不足が叫ばれている中で、この4月から4名の職員を採用することができました。障害福祉の経験者もいます。これらの人たちが頑張れるような環境づくりにも努め、活力のある法人を目指してまいります。

厳しい環境の中で29年度のスタートになりますが、この環境を乗り越えていくことは、明日の法人を築く力になると確信しております。困難さ「は人を育て、法人」を強くする源です。そのために職員が一丸となって、頑張ってください。よろしくお願いいたします。

統括施設長 竹嶋 紘



特集

平成28年度成人を祝う会 の発進・発信・発新

成人を祝う会 プロジェクトチーム

◆成人を祝う会の開催

平成29年1月21日(土)に戸田わかくさ会成人を祝う会を戸田市文化会館で行いました。当日は快

晴でとても気持ちの良い天候に恵まれました。また、副市長をはじめ、来賓のみなさまに暖かく見守られる中で行われました。

一昨年度までは交流会の中で新

成人者をお祝いしていました。が、人生の節目であり、立派な大人への一歩となるよう、単独での行事に変更されました。また、新成人

者の自立に向けてという事だけでなく、新成人を法人全体でお祝いすることで一体感を持つことも促進されます。そして、式典に参加することで利用者の皆さんはこうした場に慣れることや、自治会を中心、自分たちが企画に参加する機会にもなります。

◆利用者と一緒に取り組む

今回の成人を祝う会は、法人内で利用者を含めたプロジェクトチームが生まれ、計画を立ててきました。今年度のテーマは“発進・発信・発新”です。夢んできた今

までのこと』 今の自分を知ってもらうこと』 新しいものへの挑戦』といった意味をこめて考えられました。昨年度の成人者が、先輩としてチームに参加しました。

記念品や会場の展示物作りなど、それぞれが出来ることを活かしながら、成功に向けて取り組みました。

◆大人へのあゆみを一緒に

20歳を迎え、ご家族の皆様にとってもこの節目は大きな意味を持つものだと思います。会の中で、プロフィール紹介として、生まれた時から今までの写真をまとめたものを映写しました。皆さん笑顔でとても良い表情が溢れていました。その笑顔に至るには、いろいろなご家族の苦労があったことに思いを馳せます。これからは、ご本人、ご家族と共に、法人職員も一緒になつて、大人へのさらなる一歩をふみ出していくことを支えていき

たいと思います。
最後に、新成人のみなさま、ご家族のみなさま、本当におめでとうございます。
(宮國)

わかくさ 成人を祝う会 担当者より

◆5名の成人

今年は、安食諒一さん、桑原文男さん、柴可南子さん、富田匡輝さん、早川渉さんの5名が成人を迎えました。

2年前、特別支援学校から不安と期待を胸にわかくさへ入所されたみなさん。当初は、集団での生活に戸惑うこと、仕事をしなかつたこと、いと訴え、仕事に参加することが難しいという場面が多々ありました。しかし徐々に、わかくさでの生活に慣れ、一緒に働く仲間、笑える仲間ができ、嫌と言っていた仕事、今ではやりがいをもって取り組めるようになってきました。成人を祝う会当日、みなさんの姿は自信に満ち溢れていました。

◆その人を知る



今回、成人者一人ひとりのプロフィール紹介のビデオを作るにあたって、ご家族から提供して頂いた写真、本人のエピソードを読ませて頂き、改めてご家族の思い、喜び、ご苦労、そして愛情を知りました。職員も、みんなの成長の過程、ご家族の思いを知ることによって、「大」をより深く理解することができました。また、式に出席した人たちに、成人者のことをより知ってもらえるように、その人を表すワンフレーズを入れ情報発信をしました。

◆仲間からのメッセージ

わかくさの仲間たちも20歳になるみんなをお祝いしようと、20

歳っていいよね。」おめでとーう!!」これからも一緒に仕事しよう!」など自発的にメッセージや絵を書いてくれました。わかくさ内で月に2回行われている自治会でも、みんな、大人になる自覚、責任、そしてこれからの未来について話し合いました。

また、成人者代表の挨拶をした安食さんは、自分を含め20歳になる人たちの事を思いながら成人者代表のあいさつを考えました。「と話し、その瞳は希望、自信に満ち溢れていました。

この式を通して、わかくさに来る利用者としてではなく、一人の人生を事業所として支えていくことの重要性を感じました。今後もわかくさに来ている人、そのご家族に歩み寄り、働くこと「暮らすこと」を充実していけたらと思います。

改めて成人おめでとうございます。そして、21年目は新たな希望を胸に進んでいきましょ。

(野上)

◆会場には成人の写真

今年度の成人を祝う会は戸田市文化会館で行われました。

会場にいた利用者の方々は、慣れない場所に訪れた事で緊張した様子が見られました。しかし、控室前にあった成人する方たちの紹介パネルを見た時に表情が変わりました。日ごろ共に働いている人たちの写真が飾られ、中には自分と一緒に写っている写真もありました。

◆相手を祝う気持ち

控室では、これから成人の方たちを祝うという話になり、お祝いだからおしゃれしてきたの」と話す方や、始まる時間を「まだかしら?」と心待ちに会話を楽しんでいました。

式典が始まった後も、成人された方々に大きな拍手を送り、花束を渡すときには自然とおめでと。よかったね」という声をかけていました。また、パフォーマンスの時間では、大役をやり終えた達成感もあり、大きな声で笑った。歌ったりと笑顔が絶えませんでした。

◆祝う側も充実

その日、最初に見た成人する方の笑顔の写真」が、参加した皆さんを充実した1日に導いてくれ

たのだと思います。日々の笑顔を出せる事で、新しいチャレンジにも楽しんで参加できると改めて感じました。

成人された皆様には、お祝いの言葉と共に、良い1日を過ごさせたいと感謝いたします。

(友坂)

◆ご家族の声

この度は、大変盛大な心暖まる成人を祝う会」を開催していただき本当に有難うございました。我が子と共に成人を迎えられた皆さんの誕生からのスライドショーは親御さんやスタッフさんの思いが溢れ、改めて様々な苦労や喜び等が思い起こされ感慨無量でした。

今こうして大きく成長し、仕事をしたり、余暇を楽しんで元気に暮らしているのは、これまでも今もたくさんの方々に支えられてきたからこそと感謝しております。そして、これからはもっと長い年月、親がいなくなってもっと生きて行く事を思うと心配は尽きませんが、この子たちがそれぞれに持てる力を発揮して幸せに暮らせるよう、私たちは最善を尽くし、見守っていきます。これからも温かいご支援を宜しくお願い致します。

(ご家族より)

各事業所のとりくみ

ゆゆう

フラワーセンターの取り組み

28年度は、フラワーセンター（FC）で毎週木曜日に「ホームニー・かがやき」の混合チームで作業をする事が出来ました。

混合チームでは、他の施設の利用者の方々とコミュニケーションを取り一緒に行う作業も増えました。

利用者の変化

混合チームを経験した事によって大きな変化が見られました。

【挨拶】自分たちから他施設の利用者に、朝の挨拶を行うようになりました。他にも、休憩後にFCの職員に対して「休憩有難うございました。」とお礼を言うようになりました。

【作業準備】今までは、朝礼後に作業に必要な道具を職員が指示

して準備をしていました。しかし、今ではFCに着いて職員の指示なく準備を行うようになりました。

【時間の意識】休憩時間を伝える時間になると「作業に入ってください」とみんなに伝えるようになりました。

仲間を意識して

こうしたことは、ゆうゆうだけで仕事をしていた頃にはできなかったことです。かがやき・ホームニーの方たちの働き方を間近で見ることができたことで、一歩ステップアップした働き方を自分たちで新たに発見してくれた事を嬉しく思っています。このような刺激が成長に繋がるという可能性を見ることが出来ました。

（太田）

かがやき

Aさんの取り組みから



28年度からかがやきへの通所を開始したAさんを紹介します。

通所を開始した頃は、他者との関わり方や言葉遣いに多くの課題が見られました。色々な作業へ関心を高く持っていました。作業に取り組む中で正しい言葉遣いを意識できるように支援をしてきました。手先が器用ではなく駅前清掃のほうきの持ち方も最初はぎこちなさが見られましたが、作業を重ねていく中で上達が見え今では細かなゴミにも気付いてくれる頼もしい存在です。

Aさんのチャレンジ

かがやきでの生活にも徐々に慣れてきた中で「CAFECORの仕事に挑戦してみたい」と本人から希望があり、11月より勤務に向けた練習をかがやきで開始しました。当初は1ヶ月練習をし、かがやき内でテストをして、こるほどの実習を開始する予定でした。しかし、本人が苦手としている挨拶・お辞儀、洗い物については、本人ともしっかりと上手にできるようになるとうと話をし納得したうえで、か



がやき内での練習期間を延長しました。

こるぼで働く目標に向って

今年の1月にかがやき内でのテストに合格して、2月からこるぼでの実習を開始。わからない事をチーフへ質問することができ、業務の中でも自らできることを頑張りました。仕事に取り組む姿勢はかがやき内と変わらずにできています。その事がチーフにも評価され、3月までの実習期間を経て4月より勤務開始となりました。

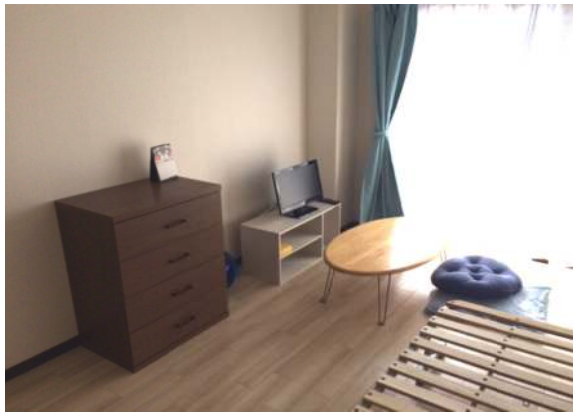
Aさんに、かがやきに来てからの1年間について話を聞いてみました。

実習に来た時、駅前清掃でゴミを拾うのが楽しくて、かがやきで働きたいと思いました。こるぼでは、お客様に飲み物を出して“ありがとう”と言われると嬉しいです。たくさんの人にこるぼに来てほしいです。」
是非、Aさんが働いている姿をCAFÉこるぼに見に来てください。
（蛭間）



グリーンガラス

サテライト型 住居の開所



一人暮らしに向けて

4月、5月と2ヶ月続けて、新しいグループホームが開所します。このグループホームは「サテライト型住居」と言うホームの形になります。共同生活を行うグループホームでは経験できない、『二人暮らし』を体験できるホームに

なります。

賃貸アパートの部屋を、グループホームの部屋として使用します。当然、周りは住民が住んでいますし、常時職員が居る訳ではないので、掃除・洗濯・ゴミ出しなどは自分でやることとなります。

しかし、一緒に住む人が居ないので、お風呂の時間を待つことはありません。休日は一人で、部屋でのんびり過ごす事もできます。

その人の目標を応援

現在、グリーンガラスに入居している方の中には、一人暮らしを目標に生活している人たちがいますが、共同生活では中々イメージ



することが難しいと思われま

す。そんな人たちに利用して頂き、一人暮らしへのステップアップのお手伝いをして行きたいと思

います。
（滑川）

※引き続き、グループホームの宿直者及び世話人を募集しています。周りに良い方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

ひかり

ひかりの相談内容

指定特定相談支援事業所「ひかり」は、計画相談を専門にこなす相談支援事業所です。平成27年11月1日に戸田市の指定を受けて開所し、現在約130名の方に利用いただいています。事業内容は、障害福祉サービスを利用したい方のために「イービス等利用計画書」という書類を作成し、利用されるサービスの提供事業所、作業所や放課後等児童デイ、ヘルパー事業

所など)の紹介をおこなう他、利用開始後に定期的にサービスの状況を確認し、必要に応じて内容を変更したり調整したりします。この一連の手続きを『評面相談』と呼んでいます。平成24年の障害者自立支援法改正により定められ、戸田市でも平成27年度から本格的に開始されました。

わかばと連携した取り組み

計画相談は、サービスを利用したい方のためのサービスを中心とした相談になりがちですが、相談支援ひかり」では、戸田市委託の相談支援事業所 障害者生活支援センターわかば」と連携し、お一人おひとりが思い描く暮らしに丁寧に耳を傾け、それぞれの大切にしたことや思いに寄り添い共感し、希望の実現に向けて一緒に考えていきたいと願っています。障害があっても地域のなかで安心して生活し、少しでも豊かな人生を送ることができるよう、ご本人やご家族、関係機関と協力し、積極的に相談支援の役割を担っていききたいと思いますので、引き続き活用ください。

なお、これまで「わかくさ」の中に事務所を置いていましたが、相談員を増員し事務所スペースを確保するため、4月から「障害者就業・生活支援センターみなみ」内に移転しました。北戸田駅東口から徒歩4分です。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしています。
高野)



※新住所…戸田市新曽1993-21
カーサフォルテ北戸田1階
電話番号…048-229-7755
(これまでと同じ番号です)

みなみ・就労支援C

オンラインワンの花 〜新年度に思う〜

特別支援学校の卒業生

当センターに登録した、特別支援学校卒業生の皆さんは、今年もまた沢山の桜を咲かせました。在校時の実習中に会社から是非、うちに」と言われて就職が決まった方、最後まで希望を持って粘り強く実習を重ねて内定を貰った方など、それぞれオンラインワンの桜の花を咲かせています。

実習の振り返りで会社からは「マードメーカー的存在になっている。期待しています」、実習態度が真面目で、清々しいです。」

と言ったお褒めの言葉を頂いています。また、皆さんからは「作業が早くなったと言われて嬉しかった。就職してもこの調子で頑張りたいです」とか「難しい処理があった大変だけど、先輩の皆さんに教えてもらって何とかやって行きたいです」との声が聞こえてきます。

期待と不安が入り混じった気持ちで臨みたいと、引き締まる思いです。

長く働いて欲しい

当センターでは、今年度も皆さん

んが長く勤められるような取り組みを行いたいと考えています。毎回皆さんが楽しみにしているサロン活動は今年も年三回行う予定です。皆で、学習の場や、歓談の場を共にしながら、悩み事を共有したり、他の人から学んだりできるというと考えています。悩んでいるのは、自分だけではない、注意された自分はダメなのではなかった」そう気づいてまた、気持ち切り替えて仕事に向かってもらえる場にできたらと考えています。

公園の桜は、儂く散ってしまいましたが、皆さんが咲かせた桜の花は、ずっとそれぞれの職場で咲き続けて欲しい、そのためにできる限りのお手伝いに我々も取り組んでいきたいと考えています。

(稲葉)



各種報告

実践報告書の 取り組み

実践報告書とは

戸田わかくさ会では、年度末になると「実践報告書」といって、職員それぞれが自らの一年間の支援の実践を振り返り、そこからどのような気づきや学びを得たか、今後はどう活かすか、などについて考えをまとめ、レポートを作成しています。テーマの設定については、年度初めに立てた自分の目標を踏まえることが原則ですが、それ以外に、その年の支援を通して深く考えたことをテーマに据える場合もあります。

振り返り気づくこと

私はちょうど一年前に職員になりましたので、今回初めて実践報告書に取り組みました。実践報告書を書くために、自分が相談者の

良きパートナーとして、支援してきたことが妥当であったのか、相談者の気持ちに寄り添ってきたのかなど自分のおこなった支援をじっくり振り返ることで、気づいたことがいろいろありました。例えば支援が何だかうまくいかないと感じる根底に、相談者ご本人の気持ちの見落としや、他の関係者とのコミュニケーションの不足があったこと、さらにその原因が相談者の生活を支えることへのプロ意識の欠如だったこと、などです。それを踏まえて、これからの一年では、職員としてもっと高い意識を持ち、いろいろな相談に適切に対応できるようにします。

言語化すること

実践の振り返りを言語化することで、自分ができていたこと・できてなかったことが整理され、次の目標をどこにおくか自然と見えてきた気がします。この繰り返しで福祉職員として少しずつ成長し、地域の福祉向上のためにより多くのエネルギーを還元できるようにすることが、実践報告書を書くこととの目的であるように思います。

今回の実践報告書での振り返りを活かし、これからの一年も、相談者や地域のみなさんからいろいろなことを学び、職員としてさらに成長できるよう頑張ってください。
（西川）

平成29年度 主要人事

平成29年度の法人各事業所の主要人事は次のとおりです。

平成29年4月1日発令

法人本部・事務

統括施設長	竹嶋 紘
事務長	吉川 洋一
事務長補佐	小野寺陽子 新
わかくさ	
所長	鈴木 利夫 新
副所長	石川 丈
サービス管理責任者	久保田崇 新
ゆうゆう	
所長	鈴木 利夫 新
副所長	浜田 知奈
かがやき	
所長	酒井 正博 新

サービス管理責任者	宮國 真衣
主任	石野 恵子 新
グリーンガラス	
管理者	和田 雅彦 新

戸田就労センター

所長	酒井 正博 新
主任	山本 弘信 新
主任	石野 恵子 新

みなみ

所長	酒井 正博 新
----	---------

わかば

副センター長	猪野真由美 新
--------	---------

ひかり

副所長	高野 永 新
-----	--------

平成29年度新規採用職員は次のとおりです。平成29年4月1日発令

わかくさ	渡邊 悠加
ゆうゆう	上村 喜紀
かがやき	中根 雅弥
みなみ	森田 明子

平成29年度定期人事異動、また、新規採用職員4名を迎え、新たな顔ぶれでみんなの願い、1人ひとりの願いを実現する事業を推進していきます。

皆様の応援をお願いいたします。
（吉川）



アーティストトークに来た田中さん家族

今年には戸田わかくさ会のアート広報紙『ネットキウイフルーツ』にもより「一層力を入れ、全8ページの特大号となりました。また、わかくさは今年3月に事業所の取り組みとして画集を作りました。こうして少しずつ、いろいろな形で、表現活動をしている戸田わかくさ会の利用者の姿が知られていったら良いなと思っています。
わかくさ清水)

表現活動

表現活動あれこれ。

戸田わかくさ会も加盟している埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0は、今年2月に春日部市・川口市・川越市で3ヶ所同時に展覧会を実施しました。戸田わかくさ会からは今村明義さん(わかくさ)、斉藤勇真さん(ゆう)、柴可南子さん(わかくさ)、田中貴之さん(わかくさ)が川越市立美術館で作品を展示しました。特に展覧会の肝となるイベント「アーティストトーク」では、大勢のお客様さんの前で柴さんと田中さんが作家として紹介されました。施設や自宅の中で行われていた表現活動が発展して、多くの人の目に触れ、社会と繋がっていく変化を見ることは、表現活動の担当職員として嬉しい限りです。

予定行事

- 【4月】
 - 7日(金) 合同入所式
 - 15日(土) 法人全体会議
情報交換会
- 【5月】
 - 13日(土) 合同家族会
 - 31日(水) 理事会
- 【6月】
 - 10日(土) 利用者交流会
 - 16日(金) 定時評議委員会

ボランティア募集

土、日に映画やカラオケ、お買い物に一緒に行ってくれる方を探しています。交通費、食事代は一部負担いたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

【グリーングラス上戸田】

連絡先 .. 048-452-8400

鈴木)



(法人の運営する事業所)

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、グリーングラス、障害者生活支援センターわかば、障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ、指定特定相談支援事業所ひかり

(ホームページはこちら)

<http://www.wakakusa-kai.com/>

【発行】

社会福祉法人戸田わかくさ会
〒335-0021 戸田市新曽1522-1
TEL 048-432-8198 FAX 048-432-8298

(編集後記)

新年度がスタートし、戸田わかくさ会も新しいスタートをしました。今年度もよろしくお願い致します。

グリーングラス下笹目近くのさくら川では名前のとおり、川の両岸に今年も見事な桜が咲きました。また桜が散る頃には、川が花びらで埋め尽くされ、ピンクの川となります。同時に緑が芽吹く季節となります。(滑川)